

NY マーケットレポート (2017年4月13日)

NY 市場のドル/円はイースター休暇を前に、積極的な売買が手控えられたため大きな方向感が出なかった。早い時間帯は米経済指標が予想を上回ったことや、米大手銀の決算が好調だったこともあり、109 円台に戻っていた。

午後に入り「米軍はアフガニスタンのトンネル施設に通常兵器としては最強の特殊爆弾を落とした」と伝わると、ダウ平均が一時 100 ドル超下落、投資家がリスク回避姿勢を強め、ドル売り・円買いが強まり 108.96 円付近まで下げた。その後、休暇前のポジション整理も入り、再び 109 円台を回復した。

2017年4月13日 (木)

海外	高値	安値	終値
USD/JPY	109.40	108.96	109.17
EUR/JPY	116.15	115.73	115.87
GBP/JPY	136.97	136.35	136.49
AUD/JPY	82.90	82.52	82.59
EUR/USD	1.0651	1.0610	1.0614

東京	高値	安値
USD/JPY	109.24	108.73
EUR/JPY	116.45	116.00
GBP/JPY	137.12	136.50
AUD/JPY	82.86	81.92
EUR/USD	1.0677	1.0642

* 東京時間は5p.m.まで

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	18,426.84	-125.77
ハンセン指数	24,261.66	-51.84
上海総合	3,275.96	+2.13
韓国総合指数	2,148.61	+19.70
豪ASX200	5,889.95	-44.01
インドSENSEX指数	29,461.45	-182.03
シンガポールST指数	3,169.24	-16.77

欧米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20,453.25	-138.61
S&P500	2,328.95	-15.98
NASDAQ	5,805.15	-31.01
英FT100	7,327.59	-21.40
独DAX	12,109.00	-45.70
日経225 (CME)	18,410.00	-110.00
ポベスパ指数	62,826.28	-1,065.40

4/14 経済指標スケジュール

13:30【日本】2月 稼働率指数(前年比)
 13:30【日本】2月 鉱工業生産(前月比)
 21:30【米国】3月 小売売上高
 21:30【米国】3月 消費者物価指数
 23:00【米国】2月 企業在庫

商品市場	終値	前日比
NY GOLD	1288.50	+10.40
NY 原油	53.18	+0.07
CMEコーン	371.00	+2.00
CBOT 大豆	955.50	+7.75

欧米債券市場	本日	前日
独連邦10年債	0.187%	0.198%
英国10年債	1.043%	1.050%
米2年債	1.205%	1.202%
米5年債	1.769%	1.768%
米10年債	2.237%	2.239%

4/14 主要会議・講演・その他予定

[香港、インド、欧州主要市場、カナダ、ブラジル]
 グッドフライデーの祝日で株式市場は休場
 [米国]グッドフライデーの祝日で株式・債券市場は休場

NY 市場レポート

◆ 仏大統領選挙、最新世論調査

OpinionWay

フィロン[20%] アモン[8%] ルペン[24%] マクロン[23%] メレンション[17%]

Ifop

フィロン[19%] アモン[8.5%] ルペン[23.5%] マクロン[22.5%] メレンション[18.5%]

第1回投票は4月23日

◆ 米主要企業決算

19:47

米JPモルガン決算、1株当たり利益は1.57ドル＝予想は1.52ドルの利益

融資とトレーディング収入の増加で予想を上回る16.8%の増益となった。

20:59

米シティ決算、1株当たり利益は1.35ドル＝予想は1.24ドルの利益

米連邦準備理事会(FRB)による利上げや為替・クレジット市場の変動に伴う顧客のポジション調整で、債券トレーディング関連の好調が寄与した。

21:00

米ウェルズ・ファーゴ決算、1株当たり利益は1.00ドル＝予想は0.97ドルの利益

コスト増や住宅ローン関連の収入低迷が響き、0.6%の減益となった。

21:30

◆ 経済指標の結果

米国 失業保険継続受給者数-4/1 202.8万人 (前回: 202.8万人⇒203.5万人・予想: 202.4万人)

米国 新規失業保険申請件数-4/8 23.4万件 (前回: 23.4万件⇒23.5万件・予想: 24.5万件)



出所: Bloomberg

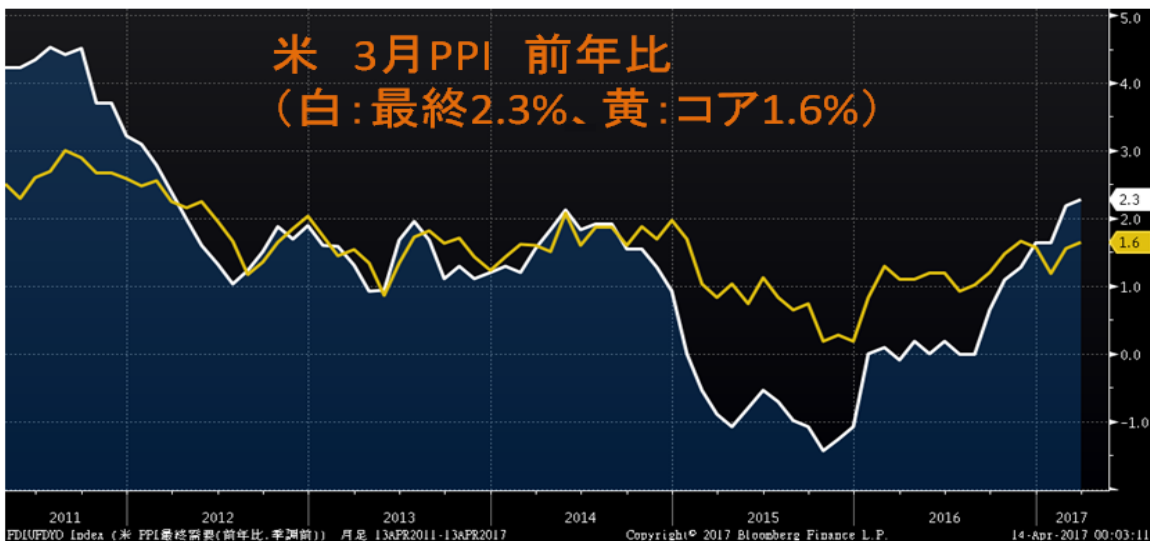
◆ 経済指標の結果

米国 3月 生産者物価指数 (前月比) -0.1% (前回: 0.3%・予想: 0.0%)

米国 3月 生産者物価指数 (前年比) 2.3% (前回: 2.2%・予想: 2.4%)

米国 3月 生産者物価指数[コア] (前月比) 0.0% (前回: 0.3%・予想: 0.2%)

米国 3月 生産者物価指数[コア] (前年比) 1.6% (前回: 1.5%・予想: 1.8%)



出所: Bloomberg

◆◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ 2月 新築住宅価格指数 (前月比) 0.4% (前回: 0.1%・予想: 0.2%)
 カナダ 2月 新築住宅価格指数 (前年比) 3.3% (前回: 3.1%・予想: 3.1%)
 カナダ 2月 製造業出荷 (前月比) -0.2% (前回: 0.6%⇒0.1%・予想: -0.7%)

22:01

◆◀ 要人発言 ▶

アサド大統領

・「シリア政府は、化学兵器はもはや保有していない」

22:25

◆◀ 要人発言 ▶

トランプ米大統領

トランプ氏が米ロ関係についてツイート

・「米国とロシアの関係は良好になる。適切な時期にすべての関係者が冷静になり、持続的な平和が訪れる」

23:00

◆◀ 経済指標の結果 ▶

米国 4月 ミシガン大学消費者信頼感指数 98.0 (前回: 96.9・予想: 96.5)



出所: Bloomberg

ミシガン大学が発表した 4 月の米国消費者信頼感指数速報の概要は次の通り。

	4 月 2017	3 月 2017	2 月 2017	1 月 2017	12 月 2016	11 月 2016	10 月 2016	9 月 2016
マインド指数	98.0	96.9	96.3	98.5	98.2	93.8	87.2	91.2
現在の景況感	115.2	113.2	111.5	111.3	111.9	107.3	103.2	104.2
先行の景況感	86.9	86.5	86.5	90.3	89.5	85.2	76.8	82.7
インフレ期待 1 年	2.5%	2.5%	2.7%	2.6%	2.2%	2.4%	2.4%	2.4%
インフレ期待 5 年	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%	2.3%	2.6%	2.4%	2.6%

注:1966 年 = 100

1:57

◆《主要ニュース》

米国、アフガニスタンのトンネル施設を攻撃、ターゲットは IS-米中央軍

- ・「米軍はアフガニスタンのトンネル施設に通常兵器としては最強の特殊爆弾を落とした」

2:00

◆《主要ニュース》

朝鮮半島有事の際の対応に着手

- ・日本政府が朝鮮半島有事に備え、国家安全保障会議（NSC）で対応策の検討に着手したことが分かった。

2:35

◆《要人発言》

スパイサー米報道官

- ・「アフガンでの攻撃は ISIS の戦闘領域排除が目的」

3:28

◆《要人発言》

米財務省当局者

- ・「外為問題は公正な世界経済にとって重要だ」
- ・「日本経済はやや回復も、改善の余地がある」
- ・「中国経済は再構築が課題だ」
- ・「ムニューシン長官は約 12 の 2 国間協議を予定している」

4:31

◆《主要ニュース》

ロス米商務長官が世耕経産相と会談へ、近く来日し貿易議論

《欧州株式市場》

ロンドン株式相場は続落。英 FTSE100 指数は前日比 21.40 ポイント安の 7327.59 で取引を終えた。銀行株が下落したほか、原油安を背景に石油株も売りに押され、指数の重しとなった。4 連休を控えて様子見ムードも強く、商いは全般に薄かった。



(過去 3 日間) 出所 : Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金先物相場は高値でもみ合いが続いた。トランプ米大統領が前日にドルは高すぎるとの認識を示したこと、地政学上のリスクや仏大統領選挙の不透明さなどを材料に一段と押し上げた。グッドフライデーを含む 3 連休を控え、立会い開始後も高止まった。



(過去 3 日間) 出所 : Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油先物相場は小幅反発し、前日比 0.07 ドル高の 1 バレル=53.18 ドルで取引を終えた。

国際エネルギー機関 (IEA) が石油月報で、市場は需給均衡に近い状態にあるとの見方を示したことが買い材料となる一方、米石油サービス大手が発表した米国の石油掘削装置の稼働数が約 2 年ぶりの高水準まで増えたことが相場の重しとなった。



(過去 3 日間) 出所 : Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

NY 米株式相場は 3 日続落。銀行決算が予想を上回ったものの、不安定な国際情勢のほか、トランプ大統領の公約も実現しておらず、経済成長を巡る懸念が続いていることから売りが優勢になった。

ダウ工業株 30 種平均は 138.61 ドル (0.7%) 安の 20453.25 ドルで取引を終えた。



(過去 3 日間) 出所 : Bloomberg

《米債券市場》

NY 債券市場の利回りは横ばい。前日のトランプ発言もあり、下げて始まったものの、この日発表の消費者のセンチメントを示す指標が好調だったことやアフガニスタンにある「イスラム国」の施設を攻撃したことが手掛かりとなった。明日からの連休前で調整の動きもあり、翌日の休日により現地時間午後 2 時までの短縮取引となった。

10 年債利回りは 2.22%から 2.26%の間を上下動したほか、2 年債は 1.20%を挟んだ値動きに終始した。

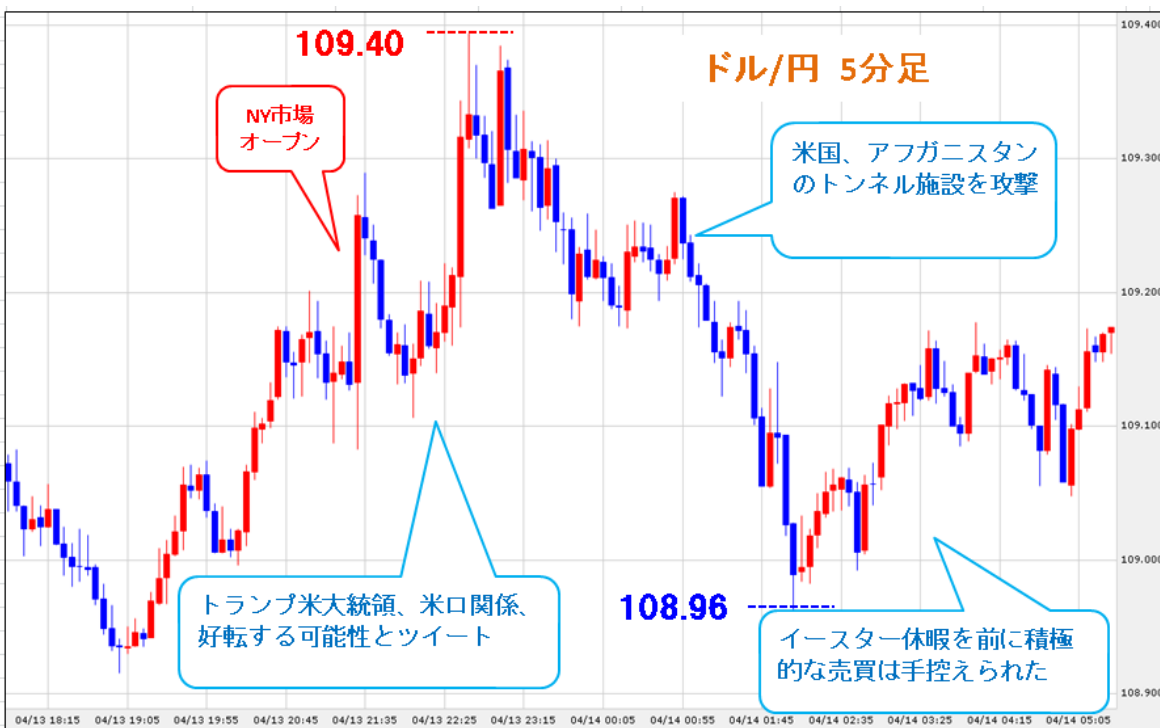


(過去 3 日間) 出所 : Bloomberg

《外国為替市場》

ドル/円は、イースター休暇を前に、積極的な売買が手控えられたため大きな方向感が出なかった。早い時間帯は米経済指標が予想を上回ったことや、米大手銀行の決算が好調だったこともあり、109 円台に戻っていた。

ただ、「米軍はアフガニスタンのトンネル施設に通常兵器としては最強の特殊爆弾を落とした」と伝わると、投資家がリスク回避姿勢を強め、ドル売り・円買いが強まり 108.96 円付近まで下げた。その後は休暇前のポジション整理も入り、再び 109 円台を回復した。



出所 : 総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。